

2021(令和3)年度 亀田カトリック幼稚園

学校関係者評価公表シート

学校関係者評価の実施にあたって

コロナ禍により、評価委員の方に書面によりご評価いただいた。

建学の精神

隣人を自分のように愛しなさい

自己評価の設問

「隣人を自分のように愛しなさい」をどのように理解していますか。
また、自分の生活や仕事で生かしていることがあれば教えてください。

ご評価・ご感想

- ・自分も含めて愛せることが大切。
- ・「自分を愛する」を、「自分を律する」という解釈としている方が多く、素晴らしい。
「愛する＝甘い」ではない。
- ・「相手の立場に立って考える」これがすべてだと思う。
- ・自己評価の記述に「隣人を愛するためには、自分自身を愛することができなければ、真に隣人を愛することにはならない」とあり、コロナ禍で大変な今、青少年の自殺者が増加しており、子どもの時から自分の大切さを知り、自己肯定感を高めていく教育が求められていると感じた。
- ・日々子どもたちのために一生懸命考え、努力され、感謝の心を忘れずに過ごされていることが伝わってきた。
- ・全体的には十分に理解し、教育をしているのが伝わる。
- ・自分の生活や仕事で生かしていることが書かれていて理解できた。
- ・自分に厳しい評価をしている人もいたが、正直でまじめな人だと思う。他人の気持ちが十分わかる先生だと思うので、自分に対しても許す心を持って欲しい。
- ・先生同士、保護者同士、地域や近所の人々との交流やコミュニケーションは大事。
- ・子どもが成長するためには、まず健康で元気であることが一番だと思う。
- ・一つの「かたち」にはめることなく、伸び伸び生活できればよいが、一人で生きていくことはできないので、自分の言動が相手に与える影響も考えていく必要がある。
- ・先生方が、子ども一人一人に対して、様々な思いと熱意をもって向き合っていることを改めて感じた。
- ・コロナ禍にあり、例年通りの園生活ではないが、子どもなりに受け入れ、楽しんでいるように思う。
- ・保育や、保育以外での人間関係等の問題に悩みを抱えている方がいるように感じる一方、それぞれの課題に向き合って解決策を見だし、目標をもって実践しているように思う。

ご意見

- ・表現や言い回しを変えただけの記述がみられるが、もう少し理解を深め、自分の言葉にかみ砕いて自分の解釈として書くことも大切。
- ・「他人を認める」という表現は抽象的。認めるだけでよいのか。
- ・みんなにやさしい地球にするために、自分はどうかを記入するとよい。
- ・保護者の会としても、園の取り組みを理解して活動できれば、子どもたちもより充実した園生活になると思う。そのためには、教職員と保護者とのディスカッションの場があるとよいのではないか。
- ・この度は子どもたちの姿が見えてこなかったので、教育目標実現のための取り組みや、その後の子どもたちの成長の姿等の資料があるとよい。
- ・若干理解していないような部分が見受けられる。
- ・家庭の問題や教育の在り方等、問題提起は大切だと思うが、自己評価としては、自分なりの改善に向けた行動や考えを記入すると、より価値のある取り組みになると思う。



教育目標

- ◆ 個性豊かに自立する子ども
- ◆ 協調しながら創造する子ども
- ◆ 痛みのわかるやさしい子ども

教育目標の設問

「個性豊かに自立する子ども」「協調しながら創造する子ども」「痛みのわかるやさしい子ども」とはどんな子どもだと思いますか。

目標に向けて、あなたが取り組んでいることがあったら教えてください。

ご評価・ご感想

- ・できないことをできるようにする努力は大切だが、「年齢にふさわしい身の自立」とあるのは、年齢並みにできない子は個性豊かではないということか。
- ・十分に理解し、目標に向け日々努力、反省していることに感心した。
- ・先生方が自分自身の思いを持ち、教育目標に向けて取り組んでいることが理解できた。
- ・キーワードは「うれしい」「たのしい」「ありがとう」「安心」「温かさ」。
- ・「人と比べない」と思うが、「できる」「できない」周りが気になるとき、先生の言葉で安心し救われることもある。
- ・世界に目を向け、少しでも世界が平等になるために、自分に何ができるかを考えることは素晴らしい。



全体を通して、今後への期待や要望

- ・相手の喜びや痛みを想像して、共に寄り添って頂きたい。
- ・iPad 活用の教育が増える中、これからも face to face の教育実践を続け、子どもたちの個性を伸ばして行ってほしい。
- ・思いやりのある子どもたちに成長するよう手助けをお願いしたい。
- ・感謝の気持ち、ありがとう精神をもって、園児や家族、保護者の方に接してほしい。
- ・焦らなくてよいので、毎日の積み重ねの大切さや大事さを忘れないでほしい。
- ・無理をしなくてよいが、楽しいことや嬉しいことをどんどん共有してほしい。
- ・「やさしさ」「愛情」を感じられるように努めていると思うので、今後も継続してほしい。
- ・子どもたちも、保護者も、先生も、笑顔でいてほしい。
- ・間違っただけや迷惑をかけたときは厳しく叱ってほしい。
- ・幼稚園が地域と寄り添い、子どもたちの健全な学びの場であり続けることを願っている。
- ・人とのコミュニケーションの取り方について、今後も継続してほしい。
- ・家庭の在り方が変化し多様化していることにより、気持ちが不安定な親は多い。園には親の SOS に気付いて寄り添ってもらえるとよい。また、園に対してのかかわり方も変化してきているのではないかと思うこともあるが、そんな中でも先生方が工夫してくれているのを感じ、今後も継続してほしい。
- ・園にお男性の保育者がいると心強いと思う。
- ・何でも親が先回りをするより、失敗することも必要なので、園では失敗したときのフォローをお願いしたい。
- ・自分が苦しい時に助けを求め、誰かに助けてもらい、そのことに感謝の気持ちを持てるよう、また子ども自身も人の SOS を受け止めとめることができるようになってほしい。
- ・YouTube 配信や、zoom 参観・役員会など、負担のない範囲で、新しいことにどんどんチャレンジしてほしい。
- ・ベルマーク活動の協力者が集まらず、負担が大きいため、検討してほしい。

